

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	第2回かわちながの森林プラン推進協議会
2 開催日時	平成31年2月15日(金) 午前10時から
3 開催場所	河内長野市役所 5階 501会議室
4 会議の概要	<ul style="list-style-type: none">・平成30年度かわちながの森林プラン実行プランの進捗報告・平成31年度かわちながの森林プラン実行プランについて・森林環境譲与税について・意見交換
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	(担当課名) 環境経済部 農林課 林政・土地改良係 (内線426)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

第2回かわちながの森林プラン推進協議会 会議記録

会議名称 第2回かわちながの森林プラン推進協議会
開催日時 平成31年2月15日（金）午前10時から午前11時50分まで
開催場所 河内長野市役所 5階 501会議室
出席者 委員（別紙名簿のとおり）
事務局 太口部長、吉永課長、池西課長補佐、松見副主査、住田
会議内容 別紙次第のとおり。詳細は以下のとおり。

○詳細

1. 開会

委員7名中、7名が出席され、設置条例第6条第2項「委員の半数以上が出席」に基づき、会議を開会した。

太口部長より開会のあいさつ。

2. 議事

（案件1 平成30年度のかわちながの森林プラン実行プランの進捗報告）

今年度のかわちながの森林プラン実行プランの進捗について資料を用いて事務局より説明、質疑については下記のとおり。

塩野委員：ナラ枯れについて、大阪府森林環境税による対応が可能なものは要望申請したとしているが、具体的にどの案件のことを言っているのか。

松見：大阪府の要望調査に対して該当すると思われるところを回答したということ、具体的な場所を特定するものではありません。

塩野委員：森林情報の集約化のアンケート回収率はどれくらいか。ホームページでの回答はあったか。

住田：送付約900件に対して回答は14件であった。ホームページでの回答は3、4件あった。森林組合通信を通じてアンケート送付という形を取ったが、来年度からは集約方法も検討したい。

塩野委員：森林環境譲与税に関しては、都市部ではもっぱら木材利用のために使われることが予想され、府内産材というところ言えば、ほとんどおおさか河内材になってくると思う。具体的には机や椅子などの備品関係の希望が多いよう。河内長野市では販売促進協議会も立ち上げられているので、ぜひ主体的な活動を期待している。特に大阪府森林組合におかれては、森林認証も取られており、世界的にも通用する認証なので、そのマークも活用してほしい。

堀切委員：木材利用については府からも指導いただきながら、市町村向けのパンフなども用意している。まずは近場からでも足を運んでいきたい。また、河内長野市からも木材利用について別部署から相談受けているものもあるので、前向きに検討していきたい。

奥野会長：大阪府の森林環境税はいつまでなのか。

塩野委員：来年が最終年で、その後の継続については未定。市町村議会から継続の要望受けているのでところもあるので、検討していく。

井元委員：どれくらいの成果が出ているのか。

塩野委員：森林経営計画を立てられた森林において事業をすすめており、子育て施設の木質化についても府下で30件以上の実績がある。

堀切委員：大阪府の森林環境税は森林整備の費用には使用できないので、防災や基盤整備がメインになっている。治山堰堤などはかなり作られている。

塩野委員：堰堤については今年度の台風などでも効果を発揮していた。

奥野会長：国の森林環境税が始まるが、府の森林環境税についても必要なのでぜひ継続してほしい。

堀切委員：木質化の実績で行くと、府下約40件のうち、7～8割を森林組合で対応しており、森林組合で対応したものは全ておおさか河内材である。

堀副会長：木材加工について、ウッドベースだけで対応はできるのか。

堀切委員：ウッドベースも決して大きいキャパがあるわけではないので、協議会メンバーや外部とも連携して対応をしている。

倉橋委員：Cの学び楽しむ森林について、アンケート待ちが多いが、森林を活用した取組みは森林サービス産業として、お金を生む産業として注目されてきている。どんどんアクションを起こして行った方が良いと思うので、企業へのPRを進めてほしい。

住田：今年度作成したアンケートを実施することも考えたが、森林環境税や森林ESDの動向も踏まえて対応できるものを再検討した方が良いと考えた。

倉橋委員：アンケートの回収率が低いのもわかるので、実施する際には狙いを絞って意味のあるものにしてほしい。企業へはアンケートとリサーチに分けるのが良い。ソフト事業も増えているので情報提供も大事になってくる。

塩野委員：具体的な企業などはピックアップしているのか。会議前に少し話していたが、三井住友信託が森林経営管理事業をするニュースが出ているので、そういったところにアプローチしてはどうか。新規の企業へのアプローチを。

倉橋委員：三菱UFJ銀行でもSDGsや森林ESDと絡めて事業をしているものもあるらしい。森林環境税の使い道として、木材利用以外の活用はどんなことが考えられているか。

松見：府内市町村説明会では、森林学習の費用に充てたいと言っている市町村が多かった。河内長野市では木根館事業として起こっている森林組合の取り組みなどもあることを話しておいた。

堀副会長：トモロスとしては、今年日本フィランソロピー協会から寄附金をもらって活動ができた。その流れで、白浜に保養所を有する東京の企業から近くで森林保全活動ができる場所はないかとの相談を受けた。さすがに遠いので和歌山の団体を紹介したが、府内でもそういったフィールドを求めている企業は少ない。トモロスだけでは対応できないが、森林組合や他団体等その時だけでも協力してマンパワーを集められれば対応できると思う。仕組みがあれば企業との連携も可能かと思うので、そういったことも検討したい。

仲谷委員：川下の方が木材利用などで盛り上がってきているが、山側の方への目が薄れてきている気がする。植える、育てる、活用するという体験は1回では難しい。南河内林業では山に入ってもらい取組等を年に数回している。最近は強度間伐したところでジップラインをやってみたりもした。活用方法はいろいろあるし、森林は循環利用することで健全な状態を維持できるので、山に入ってもらうことが大事だと思う。

奥野会長：アドプトフォレスト活動については府と連携してやっているが、活動地の選定には立地やトイレの問題などがついてまわる。そこが活動するときのネックになる。

松見：来年度から林地台帳制度が始まり、市町村で林地台帳を公開することになる。

所有者名などは非公開だが、市町村で探索することも可能になるため、持ち主がわからないが条件の良い森林などあれば市に相談してもらえば調べられるかもしれない。

案件1について質疑終了

(案件2 平成31年度のかわちながの森林プラン実行プランについて)

事務局担当より、平成31年度かわちながの森林プラン年間スケジュール案を用いて説明し、計画について承認いただいた。質疑応答については以下のとおり。

堀切委員：森林ESDや企業活動を進めるにあたって、フィールドとして奥野さんの山以外もいるので情報が欲しい。

堀副会長：学び楽しむ森林について、天見小学校の取組みを入れているのであれば、トモロスが毎年している高向小学校の取組みについてもカウントしてほしい。

倉橋委員：市に協力してもらいたい案件として、教育免許の更新の項目に森林ESDのカリキュラムを入れることを大阪教育大学と進めている。選択科目の中に入れる予定で11月には項目を申請して、平成32年度からスタートする予定。ぜひ市にも協力してほしい。

松見：承知した。また情報など展開してほしい。

案件2について質疑終了

(案件3 森林環境譲与税について)

事務局より林野庁HPに掲載されている資料を用いて説明した。質疑応答については以下のとおり。

堀副会長：経営管理法によって預けた場合、収益はどうなるのか。

松見：林業事業体に再委託している場合は、分配方法なども契約で取決めを行う。市町村で対応する際には、分配を行うかどうか市町村で判断することができる。

塩野委員：大阪府では来年度から3ヶ年程度をかけて府内森林のレーザー測量を進める予定あり、市町村にデータ提供を考えている。公開できる範囲で必要な方への提供も検討できるかも知れない。

松見：河内長野市では大阪府のレーザー測量のデータをもとに、再来年度に解析を行ってマスタープランの作成をすることを検討している。

仲谷委員：大阪府で林業事業体の認定を思うが、認定の基準などはできているのか。また、いつごろ募集を開始するのか。

塩野委員：募集時期については未定だが、レーザー測量と並行して検討する必要があると考えている。認定の基準については全国基準はなく、地方公共団体の実情に応じて設定するとされている。

堀切委員：全国森林組合連合会でも森林組合が担える部分などについてマニュアル作成等もしている。可能な限り協力していくように考えている。

堀切委員：都市部の市町村は地方の市町村の山をフィールドとして活用している場合等もあり、その自治体にお金を渡す可能性がある。

倉橋委員：お金を贈与してくれたところにカリキュラムを無料実施等の提案ができれば。

塩野委員：和泉市と周辺市町村で4市連携協定を結んで、いずもくの積極的な活用を進めている。

案件3について質疑終了

4. 閉会

議事がすべて終了し、次回は平成31年7月を目途に開催予定として閉会した。
以上

平成30年度
第2回かわちながの森林プラン推進協議会

平成31年2月15日

501会議室

会 議 次 第

1. 開 会

2. 議 事

案件1 平成30年度かわちながの森林プラン実行プランの進捗報告

案件2 平成31年度かわちながの森林プラン実行プランについて

案件3 森林環境譲与税について

3. 意見交換

4. 閉 会

平成30年度 第2回
かわちながの森林プラン推進協議会 名簿

	区分	所属等	委員名	備考
1	森林所有者	農林業従事 (大阪府指導林家)	おくの ひさかず 奥野 壽一	会長
2	森林所有者	河内長野市地区推進協議会	いのもと てつお 井元 哲夫	
3	林業従事者	大阪府森林組合南河内支店 理事支店長	ほりきり しゅうへい 堀切 修平	
4	林業従事者	株式会社 南河内林業 取締役	なかたに たかのり 仲谷 貴紀	
5	森林に 関連する団体	NPO法人森林ボランティア トモロス 理事長	ほり やすあき 堀 泰明	副会長
6	森林に 関連する団体	林業女子会@大阪 代表	くらはし ようこ 倉橋 陽子	
7	関係行政機関	大阪府南河内農と緑の総合事務所 森林課長	しおの まさのり 塩野 雅典	